

平成30年度 行政評価表

所属部	環境市民部	所属課	地域協働・安全課	正職員数	10人	その他職員数	7人	電話番号(内線)	055-983-2651 (内線3831)
-----	-------	-----	----------	------	-----	--------	----	----------	--------------------------

総合計画の位置付け	基本目標	I 安全・安心に暮らせるまち
	基本方針	2 安全な暮らしを確保するまちづくり
	施策名	12 交通安全の推進<交通安全>

所管する施策の方向一覧	I-2-12-(1)総合的な交通安全施策の推進
	I-2-12-(2)交通安全意識の高揚
	I-2-12-(3)交通環境の整備・改善
	I-2-12-(4)交通事故被害者などへの支援

年度	H28	H29	H30	R01	R02
予算額(千円)	76,819	342,111	193,771		
決算額(千円)	73,742	326,471	193,689		
決算額の内繰越明許分	-				

※人件費、一般諸経費、交際費、積立金、繰出金、出資金及び公債費は含まれておりません。
 ※予算費目表に再掲で表示されている事業は、再掲元の予算費目及び総括表に予算額及び決算額を記載しています。
 ※赤字:補正・流用により当初予算額から変更した予算額
 ※繰越明許:年度内にその支出が終わらない見込みのあるものについて、議会の議決を得て翌年度に繰越して使用するもの。
 予算要求年度に予算額を、実執行年度に決算額及び繰越明許額を記載。

成果指標 【行政改革大綱における取組事項名】	指標計算式(指標の説明)	年度	H28	H29	H30	R01	R02
市内の交通事故発生件数	年間の市内における人身事故発生件数	目標	700件	700件	700件	700件	700件
		実績	771件	738件	642件		
		進捗状況	順調	順調	順調		
交通安全教室などの参加者数	年間の市内における交通安全教室への参加者をカウント	目標	11,000人	12,000人	13,500人	15,000人	16,000人
		実績	19,003人	13,542人	13,954人		
		進捗状況	順調	順調	順調		
電子台帳管理による事務の効率化 【34 交通安全施設(カーブミラー)の管理台帳の改善】	位置データおよび写真等詳細データ入力数	目標	2,238基(位置データのみ)	1,000基	1,000基	238基	完成
		実績	2,238基(位置データのみ)	470基	470基		
		進捗状況	順調	遅れ	遅れ		
		目標					
		実績					
		進捗状況					

施策の方向	I-2-12-(1)総合的な交通安全施策の推進
-------	-------------------------

1 当該年度の実施計画(Plan)

前年度評価に対する今年度の実施(改善)計画	第10次三島市交通安全計画に基づき、交通の状況や地域の実態に即して、交通安全に関する施策を具体的に定め推進することにより、交通事故発生件数、負傷者数、死者数の減少を目指す。
【行革取組項目】 今年度の実施計画	

2 実施計画に対する取組内容(Do)

実施(改善)計画に対する今年度の取組内容	第10次三島市交通安全計画を推進するにあたり、市内の交通事故発生件数を700件に抑えられるよう努力する。とりわけ高齢者や子供といった、いわゆる交通弱者の交通事故発生を防ぐよう引続き対策を講じる。
【行革取組項目】 計画期間の取組内容(進め方)	

3 実施内容に対する評価(Check)

実施(改善)計画に対する今年度の評価	第10次三島市交通安全計画に基づき、目標の達成に向けた対策を実施し、交通事故の発生件数、負傷者数の減少が図られた。件数は642件と700件以下に抑えられたものの、一方で高齢者の交通事故の占める割合が高くなっているため、必要な対策を講じていく。
【行革取組項目】 実施計画に対する今年度の評価	

4 評価結果に対する改善内容(Action)

次年度の事業のあり方(改善措置)	引続き、第10次三島市交通安全計画の内容に基づき、各関係機関と関係部署と協力を図る。その上で高齢者と子供など交通弱者の交通事故件数削減を目指す。
【行革取組項目】 次年度の対応方針	

5 業務計画

事業名	手段・業務内容	活動指標	目標及び実績						今後の取組み方針 改善内容、終了・休止理由、 目標値変更理由等	行政改革 大綱にお ける取組
			年度	H28	H29	H30	R01	R02		
1 三島市交通安全 計画推進事業	1 三島市交通安全計画 の策定・周知・推進	三島市交通安全計画 の配布数	目標	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	維持	
			実績	45冊	8冊	9冊				
			達成状況	達成	達成	達成				

施策の方向	I-2-12-(1)総合的な交通安全施策の推進
-------	-------------------------

6 各事務事業に対する事業費

予算費目の事業名、補助金(細節)名	事業費										次年度の コスト方 向性	決算額増減の理由・改 善状況等	行政改革 大綱にお ける取組
	H28歳出(千円)		H29歳出(千円)		H30歳出(千円)		R01歳出(千円)		R02歳出(千円)				
	予算額	(うち一般財源)	予算額	(うち一般財源)	予算額	(うち一般財源)	予算額	(うち一般財源)	予算額	(うち一般財源)			
	決算額	(うち一般財源)	決算額	(うち一般財源)	決算額	(うち一般財源)	決算額	(うち一般財源)	決算額	(うち一般財源)			
1 なし													

施策の方向	I-2-12-(2)交通安全意識の高揚
-------	---------------------

1 当該年度の実施計画(Plan)

前年度評価に対する今年度の実施(改善)計画	昨今の交通事故の特徴として、高齢者が被害者となる事故だけでなく高齢運転者が加害者となる事故が増加している点が挙げられる。歩行者はもちろん、運転者に対する交通教室や訪問指導を実施する。 交通安全団体への補助金については、適正な執行・管理が行われるように指導し、交通安全教育の充実を図る。
【行革取組項目】 今年度の実施計画	

2 実施計画に対する取組内容(Do)

実施(改善)計画に対する今年度の取組内容	交通安全指導員や交通指導員会など、各関係機関の協力なくして交通事故は防げないため、今後も関係強化、事故防止を図る。その中で自発光式反射材を啓発品として配布し、効果を実感してもらうことにより着用率の増加、事故防止を図る。
【行革取組項目】 計画期間の取組内容(進め方)	

3 実施内容に対する評価(Check)

実施(改善)計画に対する今年度の評価	高齢者が交通事故の被害者及び加害者になることを防止するために、交通教室や訪問指導を実施することができた。 交通安全団体への補助金については、適正な執行・管理が行われるように指導し、交通安全教育の充実を図ることができた。
【行革取組項目】 実施計画に対する今年度の評価	

4 評価結果に対する改善内容(Action)

次年度の事業のあり方(改善措置)	交通事故件数は前年比で減少したものの、内訳では高齢者の関わる事故の占める割合は高い。今後、定年後の再雇用等、高齢者の現役期間が延びることにより、高齢ドライバーも増加することが考えられるため、高齢者の事故防止対策を一層強化する必要がある。
【行革取組項目】 次年度の対応方針	

5 業務計画

事業名	手段・業務内容 No.	活動指標	目標及び実績					今後の取組み方針 改善内容、終了・休止理由、 目標値変更理由等	行政改革 大綱にお ける取組	
			年度	H28	H29	H30	R01			R02
1 交通安全運動実施事業	1 交通安全運動の実施	交通安全運動期間中の 行事開催回数	目標	35回	35回	37回	37回	40回	維持	
			実績	48回	45回	37回				
			達成状況	達成	達成	達成				
2 交通安全教育指導事業	1 交通安全指導員の設置	交通安全教室の参加 者数(年間)	目標	11,000人	12,000人	13,500人	15,000人	16,000人	維持	
			実績	19,003人	13,542人	13,954人				
			達成状況	達成	達成	達成				
	2 交通安全教育の推進	交通安全教育用品の 配布数	目標	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	維持	
			実績	6,320個	6,210個	6,300個				
			達成状況	達成	達成	達成				
3 交通安全関係団体補助事業	1 幼児交通安全クラブ補助金交付	交付団体数	目標	17団体	17団体	17団体	17団体	17団体	維持	
			実績	17団体	17団体	17団体				
			達成状況	達成	達成	達成				
	2 交通安全母の会連合会補助金交付	交付金額	目標	72千円	72千円	70千円	70千円	70千円	維持	
			実績	72千円	72千円	70千円				
			達成状況	達成	達成	達成				
2 交通事故撲滅市民の会補助金交付	交付金額	目標	600千円	600千円	600千円	600千円	600千円	維持		
		実績	600千円	600千円	600千円					
		達成状況	達成	達成	達成					

施策の方向

I-2-12-(2)交通安全意識の高揚

6 各事務事業に対する事業費

予算費目の事業名、補助金(細節)名	事業費										次年度の コスト方 向性	決算額増減の理由・改 善状況等	行政改革 大綱にお ける取組
	H28歳出(千円)		H29歳出(千円)		H30歳出(千円)		R01歳出(千円)		R02歳出(千円)				
	予算額	(うち一般財源)	予算額	(うち一般財源)	予算額	(うち一般財源)	予算額	(うち一般財源)	予算額	(うち一般財源)			
	決算額	(うち一般財源)	決算額	(うち一般財源)	決算額	(うち一般財源)	決算額	(うち一般財源)	決算額	(うち一般財源)			
1 交通事故撲滅キャンペーン事業 (01.02.07.01.020.07)	371	(371)	-	-	-	-	-	-	-	-		H29年度より「交通安全 教育指導事業に統合」	
	370	(370)	-	-	-	-	-	-	-	-			
2 静岡県交通安全指導員設置費負担金 (01.02.07.01.020.84)	12,614	(12,614)	12,280	(12,280)	12,058	(12,058)					維持		
	10,486	(10,486)	12,209	(12,209)	12,058	(12,058)							
2 交通安全教育指導事業 (01.02.07.01.020.04)	1,617	(1,617)	1,850	(1,850)	1,900	(1,900)					維持		
	1,617	(1,617)	1,840	(1,840)	1,840	(1,840)							
3 幼児交通安全クラブ補助金 (01.02.07.01.020.88)	340	(340)	340	(340)	340	(340)					維持		
	340	(340)	340	(340)	340	(340)							
3 三島市交通安全母の会連合会補助金 (01.02.07.020.88)	72	(72)	72	(72)	70	(70)					維持		
	72	(72)	72	(72)	70	(70)							
3 交通事故撲滅市民の会連合会補助金 (01.02.07.020.88)	600	(600)	600	(600)	600	(600)					維持		
	600	(600)	600	(600)	600	(600)							

施策の方向	I-2-12-(3)交通環境の整備・改善
-------	----------------------

1 当該年度の実施計画(Plan)

前年度評価に対する今年度の実施(改善)計画	町内会、自治会からの新設要望があった場合、限られた予算の中で執行するため、カーブミラー設置基準により厳格に審査し、真に必要な箇所にカーブミラーを設置する。また、安全点検パトロールを可能な限り実施し、市民からの情報提供も含め、劣化した鏡面や腐食した支柱等を発見した場合は速やかに交換または修繕を行い、安全な交通環境の整備を実施する。 放置自転車対策としては、今後も引き続き放置自転車の指導・撤去作業を継続していくとともに、放置自転車所有者に対して、駐輪場利用の指導をし、安全な歩行者空間の確保に努めていく。
【行革取組項目】 今年度の実施計画	【34 交通安全施設(カーブミラー)の管理台帳の改善】 交通安全施設(カーブミラー)の管理台帳は現在、平成28年度にGISを使った電子的な台帳システムを導入し、全カーブミラーの位置データ及び470基分の状態調査結果、住所、画像データを入力した状態である。今年度も引き続き状態調査結果、住所、画像データを入力していくことで、事務の効率化を図る。

2 実施計画に対する取組内容(Do)

実施(改善)計画に対する今年度の取組内容	交通事故防止のため、町内会、自治会からの新設要望に基づき、カーブミラー設置基準により厳格に審査し、真に必要な箇所にカーブミラーを設置する。また、カーブミラーは風の影響を大きく受けることから、台風等により強風が吹いた際には、パトロールをすることとしたい。さらに点検パトロールを実施し、市民等からの情報提供も含め、老朽・劣化したカーブミラーを発見した場合は速やかに交換または修繕を行い、安全な交通環境の整備を図る。 放置自転車対策としては、放置禁止区域の監視及び撤去作業等実施していく。また、放置禁止区域外についても、放置自転車の通報があった場合には公道上であれば対応していく。
【行革取組項目】 計画期間の取組内容(進め方)	【34 交通安全施設(カーブミラー)の管理台帳の改善】 平成28年度からGISを使った管理システムが導入され、カーブミラー2,238基の位置データと470基分の状態調査結果、住所、画像データを入力した。平成30年度は引き続きカーブミラーの状態調査結果、住所、画像データ入力していく。

3 実施内容に対する評価(Check)

実施(改善)計画に対する今年度の評価	交通事故防止のため、町内会、自治会からの新設要望により、見通しの悪い交差点やカーブにカーブミラーを設置した。また、台風前と後の調査や市民からの情報提供により、劣化した鏡面や腐食した支柱等の交換、修繕を行なった。 放置自転車の撤去台数は、昨年比で増加となったため、禁止区域内での一層の指導を行う。
【行革取組項目】 実施計画に対する今年度の評価	【34 交通安全施設(カーブミラー)の管理台帳の改善】 GISを使った管理システムに、カーブミラーの状態調査結果、住所、画像データを470件入力した。

4 評価結果に対する改善内容(Action)

次年度の事業のあり方(改善措置)	町内会、自治会からの新設要望があった場合、限られた予算の中で執行するため、カーブミラー設置基準により厳格に審査し、真に必要な箇所にカーブミラーを設置する。また、安全点検パトロールを可能な限り実施し、市民からの情報提供も含め、劣化した鏡面や腐食した支柱等を発見した場合は速やかに交換または修繕を行い、安全な交通環境の整備を実施する。 今後も放置自転車対策の指導・撤去作業を継続していくとともに、放置自転車所有者に指導を実施し安全な歩行者空間の確保に努めていく。
【行革取組項目】 次年度の対応方針	【34 交通安全施設(カーブミラー)の管理台帳の改善】 GISを使った管理システムに、カーブミラーの状態調査結果、住所、画像データを入力する。

5 業務計画

事業名	No.	手段・業務内容	活動指標	目標及び実績					今後の取組み方針 改善内容、終了・休止理由、 目標値変更理由等	行政改革 大綱にお ける取組	
				年度	H28	H29	H30	R01			R02
1 交通安全施設整備事業 【行革取組番号 34】	1	交通安全施設の整備	カーブミラー新設件数	目標	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	維持	
				実績	10件	16件	13件				
				達成状況	達成	達成	達成				
	2	交通安全施設の整備	カーブミラー修繕件数	目標	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	維持	
				実績	68件	74件	110件				
				達成状況	達成	達成	達成				
2 駐輪対策事業	1	放置自転車対策の推進	市営駐輪場利用台数	目標	500,000台	500,000台	500,000台	500,000台	500,000台	維持	
				実績	508,430台	503,084台	480,776台				
				達成状況	達成	達成	未達成				
	2	放置自転車対策の推進	放置自転車撤去台数	目標	220台	220台	100台	適正処理	適正処理	維持	
				実績	174台	98台	124台				
				達成状況	達成	達成	達成				
3 三島駅南口立体 自転車等駐車場整備事業	1	南口駐輪場の整備	建設工事の期間内発注及び竣工	目標	—	2件	2件	—	—	終了	平成30年度工事完成、供用開始予定
				実績	—	2件	3件				
				達成状況		達成	達成				

施策の方向	I-2-12-(4)交通事故被害者などへの支援
-------	-------------------------

1 当該年度の実施計画(Plan)

前年度評価に対する今年度の実施(改善)計画	定期的にホームページや広報に交通事故相談体制について掲載し交通事故被害者等の救済に寄与する。 また電話相談が可能といった、相談しやすい環境となっていることを周知する。 法律的に専門の知識を要する相談の場合には弁護士相談を紹介するなど救済につながる方法を提案する。
【行革取組項目】 今年度の実施計画	

2 実施計画に対する取組内容(Do)

実施(改善)計画に対する今年度の取組内容	交通事故相談について広報みしまやホームページで周知する。 交通事故相談員の研修会へ参加し、事故相談の充実を図る。
【行革取組項目】 計画期間の取組内容(進め方)	

3 実施内容に対する評価(Check)

実施(改善)計画に対する今年度の評価	ホームページ、広報みしま等に掲載することにより交通事故相談について周知を図っているが、相談件数は昨年に比べ減少している。 専門知識を要する相談の場合のほか、複数人からのアドバイスや意見を要望する依頼者に対して、弁護士相談を紹介することができ、被害者の救済につなげることができた。
【行革取組項目】 実施計画に対する今年度の評価	

4 評価結果に対する改善内容(Action)

次年度の事業のあり方(改善措置)	相談者のニーズを把握することが不足しているため、積極的な広報を行うとともに、広く聴く・把握することを実施し、相談窓口の充実を図る必要がある。
【行革取組項目】 次年度の対応方針	

5 業務計画

事業名	手段・業務内容	活動指標	目標及び実績						今後の取組み方針 改善内容、終了・休止理由、 目標値変更理由等	行政改革 大綱にお ける取組
			年度	H28	H29	H30	R01	R02		
1 交通事故相談事業	1 交通事故相談体制の 充実	交通事故電話相談件 数	目標	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	維持	
			実績	41件	26件	10件				
			達成状況	達成	達成	達成				
	2 交通事故相談体制の 充実	交通事故面接相談件 数	目標	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	維持	
			実績	29件	20件	13件				
			達成状況	達成	達成	達成				
	3 交通事故相談体制の 充実	弁護士による交通事 故相談件数	目標	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	維持	
			実績	19件	12件	16件				
			達成状況	達成	達成	達成				

施策の方向	I-2-12-(4)交通事故被害者などへの支援
-------	-------------------------

6 各事務事業に対する事業費

予算費目の事業名、補助金(細節)名	事業費										次年度の コスト方 向性	決算額増減の理由・改 善状況等	行政改革 大綱にお ける取組
	H28歳出(千円)		H29歳出(千円)		H30歳出(千円)		R01歳出(千円)		R02歳出(千円)				
	予算額	うち一般財源	予算額	うち一般財源	予算額	うち一般財源	予算額	うち一般財源	予算額	うち一般財源			
	決算額	うち一般財源	決算額	うち一般財源	決算額	うち一般財源	決算額	うち一般財源	決算額	うち一般財源			
1 交通安全教育指導事業 (01.02.07.01.020.04)	2,176	(2,176)	2,185	(2,185)	2,202	(2,202)					維持		
	2,121	(2,121)	2,142	(2,142)	2,202	(2,202)							

